臨床研修プログラム

－２０２６年度版－

（プログラム番号　０３００７７３０３）

一般財団法人太田綜合病院

附 属 太 田 西 ノ 内 病 院

太田西ノ内病院医師臨床研修プログラム

１．臨床研修の目標と当院研修の特徴

臨床研修の目標は、医師としての責任感と使命感とを養い、人格を涵養し、将来の専門性にかかわらず、医学･医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的診療能力（態度、技能、知識）を身につけることである。

当院の特徴は多数の医師が、出身大学や診療科の壁を取り払って、患者中心の医療を行っていることである。診療科は救命救急センターを含めた多数の専門分野から成り、充実した機器と設備を駆使して高度の先進医療を行っている。第一線医療にチャレンジしたい研修医の方々に最適の研修病院である。

プログラム責任者：神山　美之　／　副プログラム責任者：鈴木　英二

２．一般財団法人太田綜合病院

１）理念

”生命の尊厳”、”人間愛”と”平等”の精神および医の倫理を基盤として、地域社会の幸せに貢献することを理念としている。

２）施設

一般財団法人太田綜合病院	理事長	太田　善雄
附属太田西ノ内病院	病院長	髙橋　皇基
附属太田熱海病院	病院長	丹治　雅博

３．研修施設

研修施設の主体は一般財団法人太田綜合病院附属太田西ノ内病院である。協力型臨床研修病院、協力施設等で研修が行われる。

１）附属太田西ノ内病院（基幹型臨床研修病院）

当院は、当財団法人が附属病院間のネットワークシステムによって推進している地域における予防・診断・治療・リハビリテーションから健康増進までを含めた包括医療供給体制の中で、急性期疾患と高度医療を担当し、救命救急センターを有する高次機能総合病院としてその一翼を担っている。

運営にあたっては、救急医療も含め地域での最高水準の医療を提供できる病院、地域の人々の心のよりどころとしての「やすらぎ」と「うるおい」のある開かれた病院を目指して、民間病院レベルにおける最新、最高の施設・設備と高度な診断・治療機器の導入や医療スタッフの充実等を配慮してその実現に努めている。

●所在地　福島県郡山市西ノ内２丁目５番２０号

●開　設　昭和５０年１０月７日

●開設者　一般財団法人太田綜合病院　理事長　太田　善雄

●管理者　病院長　髙橋皇基

●建物規模　〔本　　館〕Ｂ・Ｃ棟　ＳＲＣ造　地上７階　地下１階
〔２　号　館〕Ｄ・Ｅ棟　Ｒ　Ｃ造　地上５階　地下１階
〔３　号　館〕Ｆ棟　　Ｒ　Ｃ造　地上２階
〔５　号　館〕Ａ棟　　ＳＲＣ造　地上７階　地下１階
［６　号　館］　　Ｒ　Ｃ造　地上４階

●敷地面積　３３，７１９㎡　延床面積　５６，６４３㎡

●診療科目　内　　科　糖尿病内科　腎 臓 内 科　人工透析内科　血 液 内 科
心 療 内 科　呼吸器内科　消化器内科　脳神経内科　循環器内科
アレルギー科　リウマチ科　小　児　科　外　　科　整 形 外 科
形 成 外 科　美 容 外 科　脳神経外科　呼吸器外科　心臓血管外科
小 児 外 科　皮　膚　科　泌 尿 器 科　肛 門 外 科　産 婦 人 科
眼　　科　耳鼻咽喉科　気管食道・耳鼻咽喉科　精　神　科　リハビリテーション科
放射線診断科　放射線治療科　麻　酔　科　病理診断科　歯　　科
矯 正 歯 科　小 児 歯 科　歯科口腔外科

●医療機能　救命救急センター
循環器センター　（循環器内科・心臓血管外科・放射線部）
糖尿病センター　（糖尿病内科・泌尿器科・眼科）
血液疾患センター（血液内科・放射線部・病理部）
総合リハビリテーションセンター（リハビリテーション科・理学療法科・
作業療法科・言語療法科・運動指導科）
消化器センター　（消化器内科・消化器外科・内視鏡室）
呼吸器センター　（呼吸器内科・呼吸器外科・病理部）
熱傷センター　（形成外科・整形外科・眼科・麻酔科）
総合睡眠医療センター（呼吸器内科・耳鼻咽喉科・精神科・臨床検査部）
腫瘍センター　（放射線部・化学療法室・中央手術部・緩和ケア部・在宅医療部
病理部・医療社会福祉部・地域医療連携室・学術庶務課）
脳神経センター　（脳神経内科・放射線科・脳神経外科・麻酔科・
リハビリテーション科）
周産期センター　（小児科・形成外科・脳神経外科・小児外科・産婦人科・眼科・
耳鼻咽喉科・麻酔科・ＮＩＣＵ）
神経精神センター（精神科・心療内科・作業療法科・放射線部・臨床心理室・
生理検査科・医療社会福祉部）
腎センター　（腎臓内科・糖尿病内科・心臓血管外科・形成外科・泌尿器科・
眼科・透析室・栄養部）
唇裂・口蓋裂センター（形成外科・耳鼻咽喉科・小児科・歯科・矯正歯科・
言語療法科・栄養部・臨床心理室・医療社会福祉部）

●病床数　　９４５床
（一般８９５床[救命救急センター１６床含]　精神５０床）

●職員数　１，５１９名　うち医師数１５７名（研修医２６名、指導医７８名）

●患者数　一日平均入院患者数　　４６１．７名
一日平均外来患者数　　１１２５．６名　(2024 年度実績)

●医療設備　ＭＲＩ装置 1.5 テスラ（２台）　ガンマーカメラ
ＣＴ（６４ｃｈを含む３台）　ガンマーカウンタ
循環器Ｘ線診断システム　超音波内視鏡
血管造影Ｘ線連続撮影装置　電子内視鏡
術中アンギオ撮影装置(DSA)　電子顕微鏡
腎・尿管・胆石破砕装置　自動生化学分析装置
リニアック　末梢血幹細胞移植システム

●認定医・専門医教育施設としての認定学会名

日本内科学会
日本循環器学会
日本消化器病学会
日本消化器内視鏡学会
日本糖尿病学会
日本血液学会
日本呼吸器学会
日本気管支学会
日本腎臓学会
日本リウマチ学会
日本小児科学会
日本外科学会
日本消化器外科学会
日本整形外科学会
日本脳神経外科学会
日本心血管インターベンション学会
日本腫瘍学会
日本肝臓学会
日本精神神経学会
日本心身医学会
日本乳癌学会
日本感染症学会
日本呼吸器外科学会
日本胸部外科学会
日本小児外科学会
日本皮膚科学会
日本泌尿器科学会
日本産婦人科学会
日本耳鼻咽頭科学会
日本眼科学会
日本形成外科学会
日本病理学会
日本麻酔学会
日本集中治療医学会
日本救急医学会
日本核医学会
日本医学放射線学会
日本臨床細胞学会
日本内分泌学会
日本脳卒中学会
日本神経学会
日本呼吸器内視鏡学会
日本脳神経血管内治療学会

●診療科別指導責任者および指導医

研修医に対する指導は、各診療科の認定医・専門医の資格を有する指導責任者のもとで行われる。研修内容によっては必要に応じ、複数の指導医による研修方法も取り入れる。指導医は７年以上の臨床経験があり、プライマリ・ケアを中心に指導する。

●公益財団法人日本医療機能評価機構　　一般病院　認定　平成 10 年４月　再認定　令和 5 年

●エイズ拠点病院　　●地域災害拠点病院

●地域周産期母子医療センター　　●臓器提供施設

●地域がん診療連携拠点病院

2）附属太田熱海病院(協力型臨床研修病院：脳神経内科)

●所在地　福島県郡山市熱海町熱海５丁目２４０番地

●管理者　病院長　丹治　雅博

●研修実施責任者　山根 清美

●診療科目　内科　リウマチ科　脳神経外科　眼科　歯科
呼吸器内科　呼吸器外科　耳鼻咽喉科　肛門外科　消化器内科
外科　心臓血管外科　精神科　脳神経内科　整形外科
皮膚科　ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科　循環器内科　形成外科　泌尿器科（人工透析）
放射線科　アレルギー科　美容外科　婦人科　麻酔科

●医療機能　リハビリテーションセンター　脳神経センター
予防医学センター　唇裂口蓋裂センター　嚥下センター

●病床数　３９９床

●医療設備　シンチレーションカメラ(SPECT)　シネアンギオ装置(DSA)　全身用ＣＴスキャナ
起倒式多軌道断層撮影装置　カラードップラー超音波診断装置　電子内視鏡
骨塩定量装置　ＭＲＩ

3）　公立大学法人福島県立医科大学附属病院（研修協力病院：皮膚科、精神科）

●所在地　福島県福島市光が丘１番地
●管理者および　病院長　竹石　恭知
●研修実施責任者　教授　濱口　杉大

4）　公益財団法人金森和心会針生ヶ丘病院（研修協力病院：精神科）

●所在地　福島県郡山市大槻町字天正坦 11
●管理者および　病院長　金森　良
研修実施責任者

5）福島県赤十字血液センター（研修協力施設：保健・医療行政）

●所在地　福島県福島市永井川字北原田１７
●管理者および　所長　齋藤　拓朗
研修実施責任者

6）天田内科クリニック（研修協力施設：地域医療）

●所在地　　福島県郡山市山根町１２－２７
●管理者および　　理事長　天田　康
●研修実施責任者

7）いがらし内科外科クリニック（研修協力施設：地域医療）

●所在地　　福島県郡山市並木２－１２－７
●管理者および　　理事長　五十嵐 忠行
研修実施責任者

8）池田内科医院（研修協力施設：地域医療）

●所在地　　福島県郡山市安積町荒井字下北井前４３－５
●管理者および　　理事長　池田 良彦
研修実施責任者

9）おおがももこクリニック（研修協力施設：地域医療）

●所在地　　福島県郡山市片平町字出磐東５－５
●管理者および　　理事長　太神 和廣
研修実施責任者

10）菊池医院（研修協力施設：地域医療）

●所在地　　福島県郡山市本町１－１４－２１
●管理者および　　院長　菊池 信太郎
研修実施責任者

11）根本クリニック（研修協力施設：地域医療）

●所在地　　福島県郡山市咲田１－５－１１
●管理者および　　院長　根本　仁
研修実施責任者

12）やまさわ内科（研修協力施設：地域医療）

●所在地　　福島県郡山市不動前１－３９
●管理者および　　理事長　山澤 正則
研修実施責任者

13）ひろさか内科クリニック（研修協力施設：地域医療）

●所在地　　福島県郡山市富田町字中ノ目４１
●管理者および　　理事長　廣坂　朗
研修実施責任者

14）せいの内科クリニック（研修協力施設：地域医療）

●所在地　　福島県郡山市開成６－１９２－２
●管理者および　院長　清野 弘明
研修実施責任者

15）いいもり子ども医院（研修協力施設：地域医療）

●所在地　　福島県郡山市富久山町久保田字伊賀河原３
●管理者および　理事長　飯森 裕一
研修実施責任者

16）コスモス皮膚科・内科クリニック（研修協力施設：地域医療）

●所在地　　福島県郡山市御前南５－１５０
●管理者および　理事長　東條 淳
研修実施責任者

17）医療法人 慈繁会 付属 土屋病院（研修協力施設：地域医療）

●所在地　　郡山市山崎７６－１
●管理者および　院長　松本 昭憲
研修実施責任者

19）医療法人 慈繁会 付属 トータルヘルスクリニック（研修協力施設：地域医療）

●所在地　　郡山市字山崎１７１
●管理者および　院長　土屋 繁文
研修実施責任者

20）一般社団法人郡山医師会 郡山市医療介護病院 （研修協力施設：地域医療）

●所在地　　郡山市上亀田１－１
●管理者および　病院長　神林　裕行
研修実施責任者

21）福島県立宮下病院（研修協力施設：地域医療）

●所在地　　福島県大沼郡三島町大字宮下字水尻１１５０
●管理者および　院長　横山　秀二
研修実施責任者

22）福島県立南会津病院（研修協力施設：地域医療）

●所在地　　福島県南会津郡南会津町永田字風下１４－１
●管理者および　院長　吉田　典行
研修実施責任者

23）只見町国民健康保険朝日診療所（研修協力施設：地域医療）

●所在地　　福島県南会津郡只見町大字長浜字久保田３１
●管理者および　　所長　若山　隆
研修実施責任者

24）附属介護老人保健施設桔梗（研修協力施設：保健・医療行政）

●所在地　　福島県郡山市熱海町玉川字万海田４６番７
●管理者および　　所長　大澤　義弘
研修実施責任者

25）福島県厚生農業協同組合連合会 塙厚生病院（研修協力病院：地域医療）

●所在地　　福島県東白川郡塙町大字塙字大町 1-5
●管理者および　　病院長　佐川 恵一
研修実施責任者

26）いしだ内科（研修協力施設：地域医療）

●所在地　　福島県郡山市緑町 1-6
●管理者および　　理事長　石田 浩徳
研修実施責任者

４．研修プログラム

１）到達目標と研修内容

研修医は、選択したローテート診療科において実際の診療にたずさわりながら、診療科の主な研修内容［５）ローテートスケジュール］に沿って、それぞれの基礎的知識と技能を学ぶ。　厚生労働省の臨床研修の到達目標(別添)が、全ての研修医が「期待される医師像」へ向けて、患者を全人的に診ることができる基本的臨床能力を身につけることにあるので、研修医がどの診療科での研修においても、

(1) 診療の初期において、正しい判断を下し、緊急に必要な処置を自ら実施し、あるいは他の医師に処置を委ねるなどの適切な指示を与えることのできる能力を修得する
(2) 医師にとって必須な、各科にわたる基本的な診断、検査、治療の知識、技能を修得する
(3) 患者の問題を、心理的・社会的にもとらえて正しく解決する能力とともに、患者及び家族とのよりよい人間関係を確立しようとする態度を修得する
(4) チーム医療における医師および他の医療メンバーと協調する習慣を修得する

の４項を基本的到達目標にしてプライマリ・ケアの研修ができるようにしている。

研修にあたっては、各診療科とも指導医をできるかぎり複数配置し、研修医数も各科の実情に見合った適正な収容定員にするなど、指導医がゆとりをもって充実した教育指導ができるようにするとともに、各指導医に厚生労働省の臨床研修到達目標を熟知させたうえで指導にあたらせ到達目標の達成を図っている。

研修医は随時、厚生労働省の研修到達目標および各診療科の主な研修内容の各項目について達成状況を自己評価し、指導医は、未達成項目について達成できるよう援助、指導する。

２）研修医の定員

令和７年度研修開始の研修医
１６名（太田西ノ内病院基幹型１４名、大学病院の協力型２名）
令和６年度研修開始の研修医
１０名（太田西ノ内病院基幹型１０名）

３）研修計画の基本

１．期間は公募研修医（太田西ノ内病院：基幹型）の場合は２年間とする。大学附属病院研修医（太田西ノ内病院：協力型）の場合は１年間とする。
２．オリエンテーションは、当院での研修開始日より７日間前後行う。
３．当院必須科目：内科２４週、救急部門１２週、外科８週　・・・１年次
地域医療４週、小児科４週、産婦人科４週、精神科４週・・・２年次
外来研修４週　・・・１年次および２年次
４．選択科目の研修期間は最少４週以上とする。

４）研修課程

１．公募研修医（太田西ノ内病院：基幹型）の２年間ローテートコース
２．大学附属病院研修医（太田西ノ内病院：協力型）の１年間のローテートコース

５）ローテートスケジュール

１．公募研修医（太田西ノ内病院：基幹型）ローテートスケジュール

一年次

内　科 ※１　※２(脳神経内科のみ)	救　急 ※１	外　科 ※１	選択科 ※１ ※２ ※３ ※４ ※５（皮膚科、精神科のみ） ※６（精神科のみ）
(２４週)*	(１２週)	(８週)*	(４週)

二年次

地域医療* ※３	小児科* ※１	産婦人科 ※１	精神科 ※５※６	選　択　科（選択必修科目を含む） ※１　※２　※３　※４　※５（皮膚科・精神科のみ） ※６（精神科のみ）
(各４週)				(３２週)

ゴールデンウィークや年末年始等の休診日および、オリエンテーション期間等を考慮し、１クールあたりの実質研修期間が４週となるよう調整したローテートスケジュールとする。
*内科研修、外科研修、地域医療研修、小児科研修において計４週となるよう外来研修を並行研修にて行う。

※１　太田西ノ内病院

※２　太田熱海病院

※３　天田内科クリニック、いがらし内科外科クリニック、池田内科医院、おおがももこクリ

ニック、菊池医院、根本クリニック、やまさわ内科、せいの内科クリニック、ひろさか内科クリニック、いいもり子ども医院、コスモス皮膚科・内科クリニック、土屋病院、トータルヘルスクリニック、いしだ内科、郡山市医療介護病院、福島県立宮下病院、福島県立南会津病院、只見町国民健康保険朝日診療所、福島県厚生農業協同組合連合会 塙厚生病院

※４　福島県赤十字血液センター、介護老人保健施設桔梗

※５　福島県立医科大学附属病院

※６　針生ヶ丘病院

○内科は、太田西ノ内病院の内科系８診療科（内科・糖尿病内科・腎臓内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・リウマチ科・血液内科）、太田熱海病院の脳神経内科から選択する２診療科を１２週ずつ又は３診療科を８週ずつ研修する。

○地域医療は、協力病院や協力施設で研修する。
なお、研修協力施設での研修は、合計１２週以内とする。

○選択科目は、内科・糖尿病内科・腎臓内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・脳神経内科・血液内科・心療内科・リウマチ科・小児科・外科・脳神経外科・心臓血管外科・呼吸器外科・小児外科・形成外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・眼科・産婦人科・精神科・放射線科・麻酔科・病理診断科・神経内科・地域医療・保健、医療行政の３０科目から選択する。

２．大学附属病院研修医（太田西ノ内病院：協力型）

それぞれの大学の基幹型臨床研修病院のプログラムに従う。

６）研修科目の主な内容

内科

内科病棟の専属医として、指導医の下に症例を担当し診断、治療に当たる。毎週の症例カンファランスでは症例の検討をはじめ、抄読会を担当する。また、ローテートの最後にまとめの症例の提示が出来るようにする。当科は臓器別診療にとらわれず、患者さんの訴えから、疾患を鑑別し、どう診断し、どう治療を行うか、総合的なものの考え方、理論的な思考を修得し、さらに、患者さんへの接し方、スタッフとの協調、臨床倫理など医師としてあるべき態度も含め研修していただきたい。

糖尿病内科

糖尿病の分類を明確にし、病態の詳細を理解しながら、患者の個々の病態に合わせた治療ができることが必要である。
また、糖尿病の治療法として、食事療法、運動療法、薬物療法（経口血糖降下薬、インスリン）があるが、個々の治療法を十分理解し、チーム医療を通して患者を治療できることが必要である。
さらに、糖尿病性の細小血管障害や大血管障害の病期を把握し、それぞれの病期に合わせた治療法ができることも必要である。
糖尿病患者の特有の心理と行動を理解し、メンタルサポートの技能も身につけなくてはならない。

血液内科

病棟医として指導医とともに入院患者の診療に従事する。血液疾患の診療に必要な専門的知識・技術を修得するとともに、血液疾患を通して、内科医としての知識・技術の修得をはかる。血液疾患は合併症が多いので、診療各科と併診の上、関連知識・技術の修得およびスタッフとの協調性などを研修する。

呼吸器内科

病棟医となり、指導医の下に、実際に患者の受け持ち医となり診断治療に必要な知識と技術を修得する。外来は、救急患者の診察のみ、指導医とともに行う。総回診、症例検討会、他科との合同カンファランスなどへ参加する。

消化器内科

消化器科病棟の専属医として、指導医の下に消化器疾患の受け持ち医となって、診断と治療に必要な知識と技能を修得する。病棟研修では、末期患者の医療も経験してもらう。症例検討会、院内集談会、CPC、他院との研究会に出席し、また部長回診に参加する。

循環器内科

循環器病センター病棟の専属医師となり、専門医の指導の下に患者を受け持ち、心疾患の診察に十分対応できるように診断、治療、救急処置についての必要な知識と技能を修得する。その他、心臓カンファランスや症例検討会に出席し、循環専門医の教育、回診に参加する。

リウマチ科

リウマチ、膠原病疾患を中心に診療する。神経、呼吸器、腎、消化器、皮膚など、広い範囲の知識が要求される。指導医の下に、入院患者の受け持ち医となり、外来診療も分担する。月曜日の回診、２週に１度の症例検討会に参加して、診断の仕方や、治療方法などを研修する。

腎臓内科

入院患者の主治医として、指導医とともに診療に従事する。腎疾患の診断、治療に関する基礎的、専門的知識および技術を修得する。総回診、内科症例検討会、プライマリ・ケア勉強会および他院との合同研究会に参加する。

脳神経内科（太田熱海病院）

初期病棟医として、指導医の下に患者の担当医となり、診断・治療に必要な知識と技能を修得する。神経疾患のみならず、全身あるいは内科疾患に関連した神経症状についての知識を獲得する。また脳神経内科独自の検査所見の把握および技術の修得を行う。回診、脳神経内科症例検討会、抄読会などに積極的に参加してもらう。

心療内科

代表的な心身症患者（過敏性腸症候群、神経性食思不振症、神経性過食症、動揺性高血圧など）、軽症の精神疾患患者（軽症うつ病、パニック障害など）を専門医師と一緒に診察・治療することで、以下の項目を身につける。・Bio-Psycho-Social approach の視点を踏まえた病歴の取り方　・MMPI、ロールシャッハなど各種心理検査の解釈、その結果を利用した治療戦略の立て方　・短期療法、認知－行動療法、交流分析法、絶食療法などの心身医学の具体的治療法の修得治療に難渋する患者－家族に対するアプローチ方法の修得　１、明確化、直面化、解釈の練習２、逆転移の治療への利用、抵抗に対するリフレーミング及び逆説的アプローチ法　３、システミックな家族療法アプローチ(ギリシア・コーラス法）チームへの参加

小児科

指導医とともに、主に小児科病棟において、診察、治療を行う中で、小児の採血、採尿、輸液路確保、腰椎穿刺などを経験し、子どものみかた、発達・発育、各種疾患の基礎、保護者との接し方を学ぶ。総回診、小児科各種カンファランス・抄読会に参加する。また小児の一般外来・専門外来や救急医療の現場を経験したり、脳波検査、各種超音波検査の実施法、判読法を会得したり、新生児医療の現場を見学する。

精神科

外来：新患患者の予診をとり、その後、新患担当医の診察について精神症状のとらえ方、診断の進め方、病態に応じた初期治療（薬物療法、精神療法）や家族への指導について修得する。

病棟：病棟医の回診について各種精神疾患の症状のとらえ方を研修する。次に、数名の患者を受け持ち、指導医の下で薬物療法や精神療法を行い精神科治療の実際を経験する。また、病棟内の行事や作業療法、レクリエーション療法に参加し、生活療法の必要性を修得する。さらに、入院患者の処遇、行動制限など精神保健福祉法の運用の実際について学ぶ。また、開業医での見学研修を実施する。

外　科

研修期間中に、一般外科、消化器外科の診断、治療に必要な基礎知識、基礎的手術技能の修得につとめる。さらに、患者の病態生理を把握し、実際に診断、治療に携わり、チームワークとしての外科医療を理解するとともに、医師としての人格を錬磨することにつとめる。

呼吸器外科

呼吸器、胸部疾患に対する理解を深め、手術の基本を修得する。

心臓血管外科

心臓、血管疾患に対する理解を深め、手術の基本を修得する。

脳神経外科

病棟にて数名の患者を受け持ち、神経学的所見を把握し、必要な検査や手術の助手を務める。救急外来にて意識障害患者、頭部外傷患者に接し、重傷度、緊急度の判断、治療に参加する。基本的な手技の経験（腰椎穿刺、気管切開、中心静脈カテーテルの挿入)。受け持ち患者の術前カンファランスへの参加、発表。

小児外科

新生児、乳幼児、小児の発生・解剖・生理学的知識を修得させる。小児外科疾患について十分に理解させる。基本的手技、手術、術前術後管理を修得させる。

整形外科

整形外科的疾患の診断、検査、治療などの基本的事項の徹底をはかる。特に外傷（重度外傷 ）の初期治療、開放挫滅創の処置と手術、開放骨折の治療について学ぶ。手術に関しては、助手として手術に臨み、術前検査と対比させて病態の把握、手術手順について学ぶ。

泌尿器科

病棟専属で病歴をとり、診察を行い、診断ならびに治療に必要な検査の進め方を学ぶ。外来では、指導医の下に診察を行う。手術患者の術前、術後の処置、治療に当たる。手術には助手として参加し、さらに指導医の下で泌尿器科手術手技の修得につとめる。また指導医の下で小手術、泌尿器科

的検査を行う。

皮膚科

皮膚疾患および全身性疾患に伴う皮膚症状を有する患者に対応するために、基本的な皮膚科的知識と診断技術を身につける。

眼　科

眼科疾患の総括的理解、眼窩底臨床検査技術の修得、外来患者の診断と治療、眼科手術の基本の把握、術前術後管理などを実践する。

形成外科

形成外科・再建外科・美容外科の治療概念を理解する。顔面外科・熱傷などの新鮮外傷に対する初期診断方法と治療方法を学ぶ。傷跡を考慮した皮膚縫合法を学ぶ。熱傷や褥瘡などの皮膚潰瘍に対する創傷治癒を主眼においた治療法を学ぶ。形成外科で利用する各種治療手技（植皮術、皮弁術、レーザー治療、削皮術など）を学ぶ。患者との接し方を学ぶ。

産婦人科

産科：妊娠、分娩の神秘を科学する心を学ぶ。産科救急の異常性に対する理解を深める。新生児における胎外生存への適応過程を理解する。産科医療の限界を理解する。命をみつめる心を養う。
婦人科：手術医としての婦人科医のあり方を学ぶ。不妊治療における生殖医学の展望とその限界について学ぶ。女性の偉大さを医学的に理解する。死をみつめる心を養う。

耳鼻咽喉科

外来、病棟において病歴の作成、診察を行い、耳鼻咽喉科診察に必要な手技、処置法、検査法について修得する。手術には助手として参加し、手術内容の理解、術前、術後の患者管理をマスターするとともに、耳鼻咽喉科疾患に対する治療の実際、基本的手術手技についての理解を深める。

救命救急センター（救急）

各種救急疾患に対応できる診断能力、簡単な救急処置法により、各種疾患の鑑別診断をする能力の修得。集中治療棟(ICU,CCU)における重症患者の管理法の修得。救急蘇生法の修得。各種ショックの診断と治療法の修得。多発外傷の初期診断と治療法の修得。各種毒物中毒の治療法修得。

麻酔科

術前回診により、患者の全身状態を把握し、各種検査成績を検討し、患者のリスク状態を検討したうえで、それぞれの患者に適した麻酔法を選択できるようにする。救急医療に必要な気道の確保、人工呼吸、血管の確保、心肺蘇生法、モニターの選択法と実施法を学ぶ。成人の全身麻酔、重篤でない緊急麻酔法を修得する。

放射線科

放射線障害と防御に関する知識を修得する。画像診断（X線写真診断、ＣＴ，ＭＲＩ，ＲＩ，超音波検査）の方法を実習する。放射線治療の概要を学ぶ。

病理診断科

剖検：剖検の意義を認識し、執刀方法を修得し、肉眼所見を正しく把握、整理して、剖検時に可能な限り病理解剖学的判断を下せるような知識を得る。顕微鏡標本作製のための「切り出し」方法、染色法等の基本技術を理解、修得する。生検、外科切除検体の病理診断：組織診や細胞診に積極的に参加し、生検が疾患の確定診断を下し、患者の治療方針、予後判定の重要な指標となること、術

中迅速診が手術方法に直結することを十分認識し、そのための知識を学ぶ。その他：免疫組織化学、in situ hybridization(ISH)の原理、操作方法についての説明、応用できることを学ぶ。

地域医療

協力施設および協力病院や診療所において、地域医療のあり方を包括的に研修する。患者が営む日常生活や居住する地域の特性に即した医療（在宅医療を含む）について理解し実践する。また、外来研修および在宅医療を行い、医療・介護・保健・福祉に係わる種々の施設や組織との連携を含む地域包括ケアの実際について学ぶ。

輸血管理室（地域保健を担当する）

安全な輸血医療を実施するために、血液型判定、交差適合試験などの基礎的な知識、技術を習得する。血液製剤の適正使用についてのガイドラインを熟知し、貴重な資源としての血液の有効利用に努めるとともに、十分な血液供給のために、献血事業に対する理解を深め協力する。

一般外来研修

研修医が診察医として指導医からの指導をうけ、適切な臨床推論プロセスを経て臨床問題を解決する。コンサルテーションや医療連携についても研修する。「経験すべき症候」および「経験すべき疾病・病態」を広く経験する。

7）研修教育カリキュラム

※研修医のための教育プログラム

Ⅰ．症例発表会

２ヶ月に１回開催する。研修医は各科ローテート中に経験した興味ある症例を発表する。

出席者　　１．研修医全員　（１年次および２年次）
　　２．提示症例の属する診療科の指導責任者
　　３．担当指導医
　　４．教育管理委員会委員
　　５．参加希望者

Ⅱ．院内勉強会、研究会　等への参加

１．ベッドサイドレクチャー（月４回水曜日）

２．臨床病理カンファランス（ＣＰＣ）

３．太田綜合病院学会　（年１回）

４．オープンシステム勉強会　（年１回）

５．医学講演会　（年２回、公開）

６．研修医・指導医のための研修会

７．胸部単純Ｘ線写真読影研修会（楠本昌彦先生）

８．緩和ケア研修会

９．グラム染色セミナー

10. FUKUSHIMA 救急・総合診療プロジェクト

11. 総合診療スキルアッププログラム

１、２、６、７、８、９、１０、１１、１２は研修医の出席必須

13. 外部医師との勉強会
①郡山臨床呼吸器カンファランス　（月１回）
②郡山血液勉強会　（月１回）
③臨床小児科公開カンファランス　（月１回）
④福島県腎疾患勉強会　（月１回）

14. 各診療科カンファランスなど
※内科系カンファランスなど
①内科勉強会　（週１回）
②内科カンファランス　（週数回）
③糖尿病センターカンファランス　（月１回）
④腎臓内科カンファランス（月２回）
⑤血液内科カンファランス　（週１回）
⑥呼吸器内科新患カンファランス　（週１回）
⑦消化器内科・外科術前カンファランス　（不定期）
⑧消化器内科内視鏡フィルムカンファランス　（不定期）
⑨循環器シネアンギオ検討会　（週１回）
⑩循環器糖尿科負荷心電図読影会　（週１回）
⑪脳神経内科病棟カンファランス　（週１回）
⑫リウマチ・膠原病症例検討会　（隔週１回）
⑬小児科入院患者検討会　（週１回）
⑭小児科勉強会　（週１回）
⑮精神科病棟カンファランス　（月１～２回）

※外科系カンファランスなど
①外科症例検討会　（不定期）
②外科術前症例検討会　（週１回）
③外科術後症例検討会　（週２回）
④呼吸器外科症例検討会　（週１回）
⑤心臓血管外科手術症例検討会　（週１回）
⑥脳神経外科入院患者検討会　（毎日）
⑦脳神経外科術前症例検討会　（週１回）
⑧脳神経外科術後症例検討会　（週１回）
⑨脳神経外科とリハビリとの症例検討会（月２回）
⑩小児外科ミーティング　（毎日）
⑪小児外科カンファランス　（月２回）
⑫整形外科カンファランス　（週１回）
⑬泌尿器科症例検討会　（週１回）
⑭泌尿器科術前術後カンファランス　（週１回）
⑮形成外科術前症例検討会　（週１回）
⑯形成外科ベットサイドカンファランス　（毎日）

⑰産婦人科カンファランス　（週１回）
⑱産科・NICU カンファランス　（週１回）

※中央部門カンファランスなど
①救命救急センター入院患者症例検討会　（週１回）
②救命救急センターカンファランス　（毎日）
③救命救急センター多発外傷の初療について　（月１～２回）
④麻酔科術前カンファランス　（毎日）
⑤麻酔科術後カンファランス　（週１回）

Ⅲ．太田綜合病院学術年報への投稿
各指導責任者、担当指導医は研修医が発表した症例を太田綜合病院学術年報に投稿するように指導する。

８）研修医の処遇と環境

身　分　：　研修医（常勤職員）
勤務条件は当法人の就業規則による（アルバイトは認めない）

給　与　：　１年次医　月額（諸手当含む）　５３０，５００円　（２０２２年１０月より改正）
２年次医　月額（諸手当含む）　５８５，０００円
アルバイトなしに研修できるように手当てを支給する
日当直手当別途支給あり
時間外手当は別途支給あり
（月額に定額支給、時間外手当が定額を超えた場合は別途支給）
学会研修など積極的に参加することを奨励する（学会出張の補助あり）

休暇等　：　指定休日、年次有給休暇、特別有給休暇　有

日当直　：　１年次は内科日当直を行う　約３回／月（５月頃より開始）
２年次は内科日当直を行う　約３回／月

宿　舎　：　借上げ社宅（病院より２㎞の距離内）

研修医室　：　有　（※個室　：　無）

医師賠償保険　：　病院として加入、個人加入は任意

医療保険　：　全国健康保険協会　　年金保険　：　厚生年金

労働者災害補償保険法の適用　：　有　　雇用保険　：　有

健康診断　：　年２回実施

勤務時間　：平　日　8:30~17:00（休憩１時間を含む）
土曜日　8:30~12:30

９）臨床研修修了後の進路

臨床研修を修了した研修医が引き続き当院での勤務を希望する場合には、研修成績などによって専修医・常勤医として採用される道がある。

５．研修医の公募の方法

[臨床研修医募集要項]および[臨床研修プログラム]を当法人のホームページに掲載し、
以下施設へ送付する

・医科大学、大学医学部
・県内の市、郡医師会

募集人数　：　１５名
募集時期　：　募集締切　７月１８日（金）
選考時期　：　第１回　８月　１日（金）　第２回　８月　７日（木）　第３回　８月１３日（水）
選考方法　：　書類審査・面接（対面 又は オンライン）
採用方法　：　選考結果をマッチング管理機構に登録し、その結果により採用を内定する。

６．指導と管理体制

１）合同臨床研修委員会

太田綜合病院合同臨床研修委員会の委員、太田西ノ内病院の協力型臨床研修病院と研修協力施設の研修実施責任者、外部委員より構成され、研修プログラムの作成、研修医の管理及び研修医の採用・中断・修了の際の評価等、臨床研修の実施の統括管理を行う。

委 員 長　井上　実　（研修実施責任者）
副委員長　神山美之（副プログラム責任者）
委員総数　５１名

２）卒後臨床研修センター

研修プログラムに沿った研修、評価などを推進する会議
委員長、３つのワーキンググループリーダー、臨床研修室の事務員で構成。

ワーキンググループ構成とその職務分担

ワーキンググループ①
研修プログラムの作成。ローテートスケジュールの作成と調整、指導体制・評価体制の確立。指導医交流会の開催など。

ワーキンググループ②
研修カリキュラムの作成。発表会・講演会等の企画・実施など。

ワーキンググループ③
安全管理体制、健康管理、研修医の待遇、意見交換会の開催など。

３）指導責任者および指導医

指導医は７年以上の臨床経験があり、プライマリ・ケアを中心にマンツー・マンで研修医を教育する医師。指導責任者は診療科単位における研修医指導の責任者。

４）メンター制度

メンター制度を採用し、診療科の枠を超え、メンティーである研修医との定期的なコミュニケーションを通じ、研修生活やキャリア形成全般についての助言、精神面でのサポートなど、継続的な支援を行う。

5）院外指導医

地域医療等の研修において、当院以外の施設で研修を行う場合での現場で指導する医師。

6）特別臨床指導医

研修医および指導医の教育のために、院外から招聘する臨床研修に造詣の深い医師。
北原光夫（農林中央金庫人事部　健康管理室長・専属産業医）
楠本昌彦（国立がんセンター中央病院放射線診断部科長）

7．評価システムと臨床研修修了証の交付

臨床研修の評価を研修医評価票およびＰＧ－ＥＰＯＣ（オンライン卒後臨床研修評価システム）に依って評価する。

1）研修医は以下の項目につきその評価をＰＧ－ＥＰＯＣに入力する。

（1）研修内容及び研修進行状況の自己評価
（2）指導医の指導状況
（3）当院の研修環境
（4）当院のプログラム全体について

2）指導医は研修医の研修状況につき、その評価をＰＧ－ＥＰＯＣに入力するとともに、

研修医評価票Ⅰ～Ⅲを用いて少なくとも半年に１回は研修医に形式的評価（フィードバック）を行う。
また、研修修了時の最終的な達成状況については、臨床研修の目標の達成度判定票を用いて評価（総括的評価）する。

3）プログラム責任者はＰＧ－ＥＰＯＣ上および評価票で以下の項目をチェックする。

（1）研修医がＰＧ－ＥＰＯＣに入力した評価状況
（2）指導医がＰＧ－ＥＰＯＣに入力した評価状況
（3）指導医の評価票による評価状況

研修医の研修内容についての評価および指導医の研修医についての評価に基づき、合同臨床研修委員会は研修修了の合否を判定し、合格と判定された研修医に対して臨床研修修了証を交付する。

8．事務局

一般財団法人太田綜合病院附属太田西ノ内病院　臨床研修室

〒963-8558　福島県郡山市西ノ内二丁目５番２０号
電話：024-925-8643　FAX：024-925-8667
ＵＲＬ：http://www.ohta-hp.or.jp/　　E-mail：　kensyui@ohta-hp.or.jp

一般財団法人太田綜合病院

附 属 太 田 西 ノ 内 病 院

http://www.ohta-hp.or.jp/